

ふるさと林道 小山重線 「かりこぼうず大橋」の特徴

道路規格	第3種第4級
設計荷重	A活荷重
上部工形式	単純桁橋（15m間）＋キングポストトラス橋×3連
下部工形式	橋台：逆T式 橋脚：円形柱張出し式
橋長	140.0m（15.0m＋50.0m＋50.0m＋25.0m）
支間長	14.3m＋48.2m＋48.2m＋23.2m
構造規格	2車線
幅員	7.0m
床版	単純桁部：木床版（ $t=15\text{cm}$ ） トラス部：プレストレス木床版（ $t=33\text{cm}$ ）
主な仕様材料	スギ構造用集成材（E75－F240等） 使用材積 1,335 m^3 鋼材・PC鋼棒 重量 305t
工事費	13億5,200万円 （内訳）下部工：約1億3,400万円 上部工：約12億1,800万円

施工途中



完成



完成間近の架設状況です。新しい木造橋（近代木橋）にふさわしい大型建設機械を駆使する施工法が採用されています。同床版工事もスギ集成材の厚板を使い、その上に防水工事をしてアスファルト舗装の橋面仕上が施されています。

杉集成材は加工性に優れていることから、複合化して大断面長尺がつくられ、大スパンのキングポストを可能にしました。



耐久性や維持管理に配慮し、一部には金物を使っています。スギを効率よく利用するハイブリッド構造とも言えます。